

イノベーション探究基礎 講義①「テーマの設定と先行研究の調査」

＜講義のポイント＞

- 1) **探究のテーマを決める** . . . テーマの重要性と決め方の留意点
- 2) **テーマに沿って資料を集める** . . . 先行研究の調査と参考文献の収集

I. 良い探究とは？

「() と思う研究」

自分自身の_____があることを出発点に！ _____が無ければ続かない

「() がある研究」

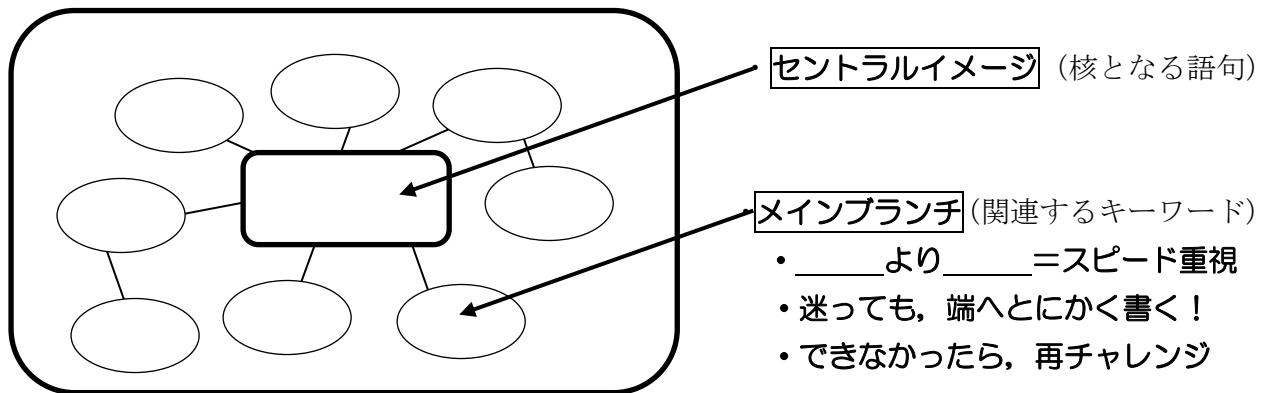
興味・関心があっても社会へ発信しなければ、自己満足の趣味の世界で終わってしまう
_____を絡めるのもあり！

「具体的な() が見込める研究」

研究活動は完璧な解答を出せるものではない！ 試行錯誤の成果である

II. マインドマップ法 ～探究のテーマや論題を考える方法の一つ～

- 頭の中の思考を「蜘蛛の巣」状に表現して整理する→問題解決や自己理解につながる方法
- しくみ



＜進め方＞

- ① セントラルイメージを決める . . . 漠然とした簡単な語句が適
- ② 制限時間（短い方が良い）を決め、ひたすらメインプランチを書く
- ③ メインプランチのうち関連すると思われる（第一印象がポイント）ものを結ぶ
- ④ 最もつながりの多そうな語句を「キーワード」にする！

【マインドマップを体験してみよう！】

＜練習＞

仙台三高

＜本番＞ セントラルイメージは「自分が興味あるもの」



III. テーマの決定（仮決定）

○キーワードが決まつたら

「キーワード」に関連する、文献＝先行研究を集め、文献を読んで情報を整理する

○三つの要素がそろったものを探究のテーマ（仮テーマ）とする！

＜探究の三要素＞



○更に文献＝先行研究を集め、探究の目的を考える！

＜テーマ設定の注意点＞

Q テーマの変更はできるの？

A _____

Q テーマの設定は何でも良いの？

A _____

IV. 先行研究の収集と調査

〔参考文献を集め、調査することを先行研究の収集と調査と呼びます〕

「参考文献や引用文献は（ ）良い！」

しかし、研究に明記しなくてはいけない！

明記しないと著作権法違反になる！

○参考文献や引用文献の無い研究は研究ではない！ 「机上の空論」である

○参考文献や引用文献の「明記は研究の必須事項！」

・明記しない＝無断引用＝「盗用」「剽窃」の罪に問われる

・自分の言葉で言い換えてもダメ

1) 参考文献と引用文献の違い

引用文献「文献の文言を（ ）で利用すること」

参考文献「参考にした図書や文献、新聞記事のこと」

2) 参考文献・引用文献明記に必要な項目（どれが欠けても×）

①

②

③

④ _____

⑤ _____

3) 参考文献を整理しよう！

参考文献とする先行研究は多いほど良い！

そこで、参考文献のリストをつくるべし！

〈リストの項目〉

五つの項目のほかに

- ・整理番号
 - ・入力日（読みだ日）
 - ・入力者（共同で研究する場合は必須）
 - ・参考文献の概要
 - ・クロームブックが来たら、エクセルやスプレッドシートなどの表計算アプリを使おう！

(リストの一例)

No.	入力日	入力者	文献名	著者名	出版年次	出版元	引用力所
1							
2							
3							
4							

＜本時の振り返り＞